

授業科目名		ヘルスツーリズム実践研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	戸祭 達郎	
コース名		ヘルスツーリズムコース				
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	3	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	木・2	講義
授業概要						
<p>この講義では、「ヘルスツーリズム」、「ジオパーク・ツーリズム」、「地域活性化」の3つがあり、フィールド調査を通じた研究をおこないます。「ヘルスツーリズム」では、より健康を目指す人たち、癒しを求める人たち、高齢者で元気な老人たち、障害者の人たちに安心して旅行に出かけてもらえる仕組みをつくるための経済産業省「人材育成・登録」プロジェクトに参加し、神戸学院大学、阪南大学と一緒に研究しましょう。次に、「ジオ（地質）パーク・ジオツーリズム」は、2010年秋に山陰海岸（鳥取・兵庫・京都）がユネスコからジオパークとして承認される予定です。山陰海岸・但馬へは、ツーリズムひょうご学官連携協議会（兵庫県庁内）所属の5大学（海星、山手、国際、流通、本学）と加えて神戸学院、阪南大学、立命館大学の計8大学の学生たちと一緒に合同調査を9月上旬におこなう予定です。「地域活性化」は、総合研究のゼミ生が3回目の調査で限界集落である京都府綾部市上林、老富地区に入っており、4回生と合同調査します。さらに、独自に兵庫県の協力により、兵庫県内の小規模集落に入り、地域活性化の調査を行う予定です。また、夏に宍粟市への森林セラピー調査に参加することも可能性としてあります。以上、山盛りの調査ですが、元気に楽しく学生主体でゼミを運営しましょう。</p>						
到達目標						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 合同調査に全員が参加する 2. 調査した結果をまとめ、発表する 3. 総合研究の4回生先輩や他の大学の学生たちと交流できる 						
授業方法(展開)						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 文献から学ぶ 2. フィールド調査に参加する 3. 会議に参加し、報告書をまとめる 4. 発表する 						
関連科目・知識・スキル						
<p>「ウエルネス論」、「ヘルスツーリズム論」、「健康産業論」を受講してください。また、4年次開講の「総合研究Ⅰ・Ⅱ」と接続しています。</p>						
成績評価						
<p>受講態度、討論参加、フィールドの参加、報告書・レポートのまとめや論文の作成、発表など総合的に判断する。</p>						
教科書・参考書など						
<p>その都度指示する。</p>						
履修上の注意事項						
<p></p>						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

春学期

1. 自己紹介、講義計画、講義の到達目標、授業評価、参考文献
2. 「ヘルスツーリズム」の概念
3. 「ジオパーク・ジオツーリズム」とは
4. 山陰海岸ジオパーク推進協議会主催の説明会：(県庁内)に参加
5. 過去の調査レポート、先行文献の紹介
6. 「限界集落・小規模集落」の概念
7. 限界集落の過去の調査レポート、先行文献の紹介
8. 「地域活性化」の概念
9. 「ユニバーサルツーリズム」の概念
10. ゲスト講師：NPO法人ウイズアス代表鞍本氏
11. 経済産業省の会議に参加
12. ゲスト講師：経済産業省 人材育成・登録講師
13. 学生交流—神戸学院大、阪南大学の学生たち
14. 発表
15. まとめ

夏休み

1. 9月上旬 2泊3日 山陰海岸ジオパーク・ジオツーリズム合同調査
2. 8月上旬? 1泊2日 森林セラピー調査予定

秋学期

1. 秋学期の講義計画、成績評価など
2. ジオパーク調査のまとめ、
3. //
4. //
5. //
6. 兵庫県内の限界集落・小規模集落への調査準備
7. ゲスト講師：プロデューサー伊勢氏限界集落、小規模集落
8. 調査
9. 調査とまとめ
10. 京都府綾部市の調査結果を先輩から聞く
11. 報告書
12. 報告書
13. 発表
14. 発表
15. まとめ

学生への一言

ここのゼミ生が実践研究(3回生)のときに彼らにどのようなノウハウが構築できたか、成長できたのかどうか、学生主体でみんなが責任をもって活発にゼミが運営がされたかどうかなどを先輩に率直に聞いてみてください。私は、学生たちが限界集落の京都府綾部市上林・老富地区に春学期と秋学期の2回もでかけ、現地の人々から多くを学び、それを報告書にまとめ、学生たちは大きく成長したと思います。

授業科目名	ヘルスツーリズム実践研究Ⅰ・Ⅱ		担当教員名	石田 高明		
コース名	ヘルスツーリズムコース					
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	3	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	月・4	講義
授業概要						
<p>ヘルスツーリズムという用語の概念は現在のところ明確ではないが、本講義では広義のヘルスツーリズムの中で、トラベルヘルスと解釈して捉える。</p> <p>必修科目であったトラベルヘルス基礎、トラベルヘルス応用の次のステップとして、トラベルヘルスの実践編の位置づけである。</p> <p>今後、当然予想される高齢者の旅行者、持病を持った旅行者などの増加に対応できる保健・健康に関する基礎的学識を備えた人材の養成を目的としている。</p>						
到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・旅行者に健康アドバイスができる。 ・予防接種など病気の予防法を説明できる。 ・世界各国の感染症など医療情報を提供できる。 ・日本渡航医学会認定旅行健康管理者（トラベルヘルスマネージャー）の資格を取得する。 ・健康回復、維持、増進&安全な旅行ツアーを企画することができる。 						
授業の運営方法						
<p>受身的な講義体系は必要最小限にして、各学生が持ち回りで司会を担当し、テーマを設定する。</p> <p>それについてクラスで文献、資料を読み、事例研究、調査、分析、プレゼンテーション、ディスカッション、レポート作成を行う。</p> <p>特にプレゼンテーション能力の向上、レポート作成技術の向上に重点をおく。</p>						
関連科目・知識・スキル						
<p>「医学の基礎」「トラベルヘルス（基礎）」「トラベルヘルス（応用）」「医療英語」「救命救急技術」</p> <p>「バリアフリーツーリズム」</p> <p>「ヘルスツーリズム総合研究Ⅰ・Ⅱ」（4年次）の継続履修を前提としている。</p>						
成績評価						
<p>受講態度、発表、レポート、参加度や積極性などを総合評価する。</p>						
教科書・参考書など						
<ul style="list-style-type: none"> ・「テキストブック・トラベルメディスン」日本渡航医学会編 ・「海外で健康！知恵袋 第二版」近代出版 ・「出発以前の海外旅行の「クスリ箱」」講談社+α文庫 						

- ・「Yellow Book 2010」 CDC
 - ・「International Travel and Health」 WHO
 - ・「ヘルスツーリズムの現状と展望」 JTBヘルスツーリズム研究所編
- その他、講義中に随時紹介する。

履修上の注意事項

- ・「トラベルヘルス（基礎）」を履修済みであることが望ましい。「トラベルヘルス（応用）」未履修の者はすみやかに履修のこと。
- ・本講義はPCを使用するので毎回持参のこと。
- ・人数調整が必要になった際は志望理由書の提出で選考する。

授業スケジュール

授業スケジュール（春学期 15回＋秋学期 15回）。

第1回 オリエンテーション

第2回～第29回

- ・トラベルヘルス実践 総論・各論
 - （予防接種、感染予防対策、航空医学、登山医学、海洋医学などの旅行医学）
 - （ヘルスツーリズム：温泉療法、森林療法、アロマセラピーなどの健康療法）
 - （メタボ対策ツアー、禁煙ツアー、糖尿病キャンプなどの健康関連ツアー）
- ・関連DVD、ビデオ視聴
- ・学外教育の実施
 - 厚生労働省検疫所見学
 - フィールドワーク（各地温泉等）
 - 日本渡航医学会関連学術集会出席
 - ヘルスツーリズム関連学術集会出席
 - （交通費自己負担発生の可能性あり）
- ・学外ゲスト講師の招聘
 - JTBヘルスツーリズム研究所講師による

第30回 まとめ

（なお、スケジュールは状況に応じ変更される。）

学生への一言

健康や医療に関する学問は、やさしく解説するつもりですが難解なところがあるのも確かです。
トラベルヘルスに興味を持つ、やる気のある人を歓迎します。